

まじは!!

「聖なる生活」

「すべての人と共に平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。

聖なる生活を抜きにして、誰も主を見ることはできません。」

(ヘブライ人への手紙 第12章14節・新約聖書408頁)

はじめに

このヘブライ人への手紙は、「常識」というあいまいな生き方、また満足感のない古い生き方を捨て、「完全な救い」を受け入れ、充実した人生を送るように説いています。イエスを救い主として信じるならば、それができるのです。

この手紙の後半では、「完全な救い」を得たことによって神から祝福を与えられた人たちを紹介し、その人たちが証人なのだから、あなたがたも同じように歩みなさいと勧められています。ただし、そこには鍛錬が伴うのだと注意がなされています。その鍛錬を耐え忍ぶために必要なのが、本日取り上げる聖なる生活です。

鍛錬について

完全な救いを受けた証人たちは、「重荷や絡みつく罪を振り捨てて」走り抜きました。時に「氣力を失い、弱り果て」る私たちですが、この著者は「まだ罪と闘って、血を流すまで抵抗したことはありません」と言っています。

いつも申し上げていますが、神は私たちは苦しめようとしているわけではありません。恵みを受け取るための器を作ってくださいとしているのです。つまり、神は私たちの器にあふれる恵みを施してくださいます。このあふれる恵みはだれも同じなのですが、その器の大きさが違います。つまり、1タラント、2タラント、5タラントという違いです。神は私たちの器を広げようとされています。それが「鍛錬」です。「鍛え上げられたことにより、「ご自分の聖性にあずからせようと」されているのです。

聖なる生活を追い求める

ですから、耐え忍ぶというところがまんをするようなイメージがありますが、そうではなく、聖性にあずからせようとされる御旨を覚え、「聖なる生活を追い求めていく」ことなのです。

聖なる生活を追い求めなければ、よそ見をしているわけですから、主を見ることはできません。主を見るとは、主と目を合わせることであり、それらによってほかのものを見る必要がなくなります。つまり、この世のすべての思い患いから解放され、また勝利していくことを意味しているわけです。そうでないと、苦い根が生え出て悩み、また汚されていくと、エサウのように神への従順な心が失われ、祝福を失うことになると警告されてもいます。

聖なる生活の結果

聖なる生活を実現するためには「萎えた手と衰えた膝をまっすぐにする」ことです。この言葉は信仰を立て直すという意味ではありますが、それ以上に、希望に満ちた、私たちの目標を指し示しています。イザヤ書35章にある「私たちは砂漠のように乾いた状態にいる、希望がないように見える状況にある、しかし、心を弱くするな、そこに喜びがもたらされる、見えない人の目は開かれ、聖なる道が現れ出てくるのだ」との預言とつながっているのです。その実現を信じ、聖なる生活を追い求めていきたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後には、それによって鍛え上げられた人々に、平安な義の実を結ばせるのです。だから、萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしなさい。また、自分の足のために、まっすぐな道を造りなさい。不自由な足が道を踏み外すことなく、むしろ癒やされるためです。すべての人と共に平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、誰も主を見ることはできません。」(ヘブライ人への手紙 12:11 ~ 14)



「荒れ野と乾いた地は喜び 砂漠は歓喜の声を上げ 野ばらのように花開く。花は咲き溢れ大いに喜びの歌声を上げる。レバノンの栄光と

カルメルとシャロンの輝きが砂漠に与えられる。人々は主の栄光と私たちの神の輝きを見る。弱った手を強くし 萎えた膝を確かにせよ。」(イザヤ書 35:1 ~ 3)

神さま、どうぞ聖なる生活を追い求めることができるように信仰を強めてください。そしてこの世の力に打ち勝ち、主の栄光と神の輝きを見るものとさせてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (111) 第5章15節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたの水溜めから水を飲め あなたの井戸に湧く水を。」

◎口語訳 「あなたは自分の水ためから水を飲み、自分の井戸から、わき出す水を飲むがよい。」

◎新改訳 「あなたの水ためから、水を飲め。豊かな水をあなたの井戸から。」

「あなたの水溜め」

15節からのまとまりの箇所を見ると、「自分の妻を大切にし、よその女には目もくれない」という教えであることが分かります。この章の1節から話題になっている「よその女」は、その人の人生を破滅させるだけでなく、家庭までも崩壊させてしまうぞとの警告です。

聖書には水にまつわる話が多出します。それは何よりも降水量に乏しく、水が貴重な地域が背景にあるからです。定住する際にも水が確保できる場所を見つける必要があり、自分の水源を所有して初めて安心して住むことができました。「水溜め」とは、時々降る雨を溜めておく人工的な貯水槽を言います。井戸は水源に届くまで掘り、常に水を汲むことができるように造られました。

映画「アラビアのロレンス」は、中東問題をより複雑にし、解決困難な状態にしたイギリス

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

の二枚舌事件を扱ったものですが、冒頭のシーンで、井戸を見つけたロレンスが、現地ガイドに頼んで水を汲んでもらっている時、パーンという乾いた音がしてガイドが射殺されます。その直後、遠くから馬に乗って近づいてきた人物が「これは俺の井戸だ。他人が飲む時はこうなるのだ」と言うわけです。映画全編のテーマを凝縮したようなシーンだったと思います。

水は自分が手に入れた財産であり、それを大切にしなければなりません。家庭を大切にすることのために「自分の井戸」をたとえにしたのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第67編2節「神が私たちを憐れみ、祝福し その顔を私たちに輝かせてくださいますように。」◆聖書の中で「光」は命を象徴している。もちろん、その逆に「闇」は死である。だが、一般と違うのは、この光が物理的なもの、つまり太陽の光を表しているのではなく、神を表しているということである。神の御顔を照らされるとは、私たちに命が宿ることを意味する。私たちが悲しみや苦しみという闇の力に悩まされないためには、この神の光によって照らされなければならない。そのためにも、神に向かい、目を注ごうではないか。

●賛美／200 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第68編3節「煙を吹き払うように、あなたは敵を吹き払う。火の前に蟬が溶けるように 悪しき者は神の前に滅び去る。」◆問題は次から次へと起こってくる。だが、神はその問題を次から次に消し去り、解消してくださる。この詩の大半をさいて語っているのは、エジプトの奴隷であった状態から救い出された後、荒れ野で旅を続けている時に起こった出来事についてである。次から次にトラブルが襲ってくるのだが、神はすべて救い、助けてくださった。それを思い起こし、だからこそ、これからも大丈夫だと信仰を新たにしているのである。

●賛美／201 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会（聖書配布）、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第69編17節「主よ、恵みと慈しみのゆえに答えてください。深い憐れみにふさわしく御顔を向けてください。」◆聖書に出てくる「慈しみ」は、多くの場合、「上からの権威をもって一方的に与えられる恩恵」を意味している。しかもそれは細かい配慮を伴ってもいる。つまり、誰も一律の基準でもたらされるのではなく、その人その人に必要なものが備えられ、補われていくとの意味を持つのである。私たちの神は、私を覚え、私のために最善の方法を備え、それを実行してくださる。それが慈しみの深さなのだ。

●賛美／202 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。（まきば、小山宮下事務所、向陽町）

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第70編5節「あなたを尋ね求める人すべてが あなたによって喜び楽しみ あなたの救いを愛する人が『神は大いなるかな』と 絶えることなく言いますように。」◆あなたは神が守ってください、乗り越えさせてくださると信じているか。もしその思いが薄いなら、今までに受けた恵みを思い返し、いつも私を顧みてくださっていたと再確認したら、「神は大いなるかな」と唱えるべきだ。どんな時にもこの信仰告白ができるように、常に唱え続けよう。それによって、神への信仰が深まっていこう。そして、まさに大いなる方であることを経験するはずだ。

●賛美／203 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第71編9節「年老いた時、私を見捨てず 私が力衰えても、捨て去らないでください。」◆あなたは、私はこれだけのことをやったんだから、神は報酬をくださるようにして恵みをもたらすはずだと考えることはないだろうか。また、肉体が衰え、人の世話を受けることしかできず、何もできなくなってしまったと落ち込む時には、神は、こんな何もできない私には恵みをくださらないだろうと思い込んではいないだろうか。神がそんな心の狭い御方だと思っているのか。神は私たちをその時にかなった最高の恵みをもって取り扱ってください方である。

●賛美／204 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第72編2節「彼が正義によってあなたの民を 公正によって苦しむ人を裁きますように。」◆「ソロモンの詩」とあるものの、最後に「ダビデの祈りの終わり」となっているので、ダビデがソロモンのために祈ったのではないかと思われる。ダビデは後継者に何を求めたのか。それは、神の公平と義、すなわち人をさばく知恵が与えられ、それに従って国を治めていくことだった。この祈りが、何がほしいかと主が問うた時、「さばく知恵を与えてください」との求めにつながっている。次代の者たちが、何よりも神の国と神の義とを求めるように祈りたい。

●賛美／205 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第73編18節「あなたは滑りやすい道を備え 彼らを廃虚に落とされる。」◆野外でシートを敷く時、だれも好んで石ころだらけの場所を選ばない。良い場所をとれた時にはそれだけでほっとするものだ。悪いことをやっている者たちが、すべて思い通りに事を進めているのをうらやんではならない。神はご承知で彼らを「滑りやすい」、居心地の良いと思われる場所においている。しかし、もし彼らが最後まで、神を認めなかった場合には、ある時突然、彼らは一掃される。私たちは神が導かれた場所で神をたたえて歩むべきである。

●賛美／206 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【しとげんこうろく 11:19～30】

「アンティオキアのきょうかい」

(しとげんこうろく 11:26)

イエスさまの ふくいんは それこそ おおくのくに、おおくのひとにつたわっていきました。おおきな きっかけになったのは、ステファノが イエスさまのために しんだことでした。イエスさまを しんじるひとたちが いじめられ、たいほされ、そしてころされることが あたりまえになっていくと、しんじているひとたちは、エルサレムに いられなくなってしまいます。しかたなく、がいこくにでていくことになります。ひっこしをしても、イエスさまを しんじることを やめたわけではありません。すんだところで、イエスさまを しんじるせいかつをつづけていました。

ユダヤのくにの きたにある、アンティオキアというまちには、ユダヤだけではなく、いろいろなくにから きた ひとたちがすんでいました。イエスさまを しんじていた ひとたちは、

そのがいこくからきて、すんでいたひとにも イエスさまのふくいんを かたりました。そして、おおくのひとたちが イエスさまを しんじるようになって、いつのまにか「クリスチャン（キリストを しんじるもの）」とよばれるようになりました。

そのひとたちは、じぶんのくにの ひとたちにも このふくいんを つたえたいとおもっていましたが、くににもどることは なかなかできませんでした。そんなとき、イエスさまを しんじるようになった パウロが アンティオキアに きたのです。そして、「わたしは イエスさまのふくいんを せかいにつたえるために イエスさまからの めいれいをうけました」とつたえると、アンティオキアの ひとたちは、「わたしのくににも いってください」といい、パウロたちの でんどうのたびに ひつような いろいろなものを もってきました。そして、パウロたちの はたらきのために いのって おくりだしたのでした。アンティオキアは パウロの でんどうの きちとなりました。

●かんがえてみよう

☆ステファノの じけんのあと、どんなことがおこりましたか。(しとげんこうろく 11:19)

☆エルサレムのきょうかいの ひとたちは、だれを アンティオキアに つかわしましたか。(しとげんこうろく 11:22)

☆アンティオキアで イエスさまを しんじたひとたちは なんと よばれるようになったのですか。(しとげんこうろく 11:26)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ふくいんをしらせる

せ				くん				い
	くい							ん
し	ん	る	ら		せ			ふ
い	る	し	く					
ん	せ	ら		し				
く				せ		い	し	
ら	を	せ	い	ん	し			
る	し	ん				を	い	せ
			せ	る	を	ら	ん	し

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① ひとのおいおせ
- ② いまるちゃんね
- ③ くとちゃ
- ④ じょえん

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「記録更新」

サッカーのワールドカップで盛り上がっています。なんと言っても今は野球をしのぐ勢いがある競技です。ただ、私はその「陰」で行われていた陸上の日本選手権が気になっていました。今年のアジア大会は日本が開催地になっているのですが、その代表が決まる大会でもあり、誰が勝つかよりもどのくらいの記録が出るかに注目していました。やはり、日本で勝っても世界で通用しなければ意味がありません。近年、100m×4や400m×4のリレーだ

けでなく、3000m障害、そして女子でもやり投げをはじめ各種目で入賞する若い選手が出てきましたので楽しみにしていました。といっても、テレビ中継を見ることはなかなかできないので、ニュースで結果を知ってからネットのダイジェスト版で確認していました。

今回は高校生が400mハードルですごい記録を出しました。世界大会の短距離種目で初めて日本にメダルをもたらした為末大選手のもっていた高校記録を30年ぶりに塗り替え、トップクラスの社会人や学生を破っての優勝です。今回の記録は18歳以下の世界記録。為末選手も同様だったのですが、これから順調に成長していけば2年後、もしくは6年後のオリンピックでのメダルも夢ではありません。

聖書ふれあい街歩き

●神の箱の行き先 4

イスラエルが最も大切にしていた契約の箱を奪ったことで、イスラエルが一気に崩壊するのではないかと思っていたペリシテ人でしたが、なんとダゴンは倒されるは、腫れ物が蔓延するわで、「助けを求める町の叫びは点にまで達した」ほどでした(サムエル上 5:12)。そのため管理しようとする町はなく、郊外の平野に捨てるようにして放置されました。

ペリシテの首脳陣はバアルの祭司と占い師に「元の場所」に送り返したいがどうしたらよいかと尋ねています。つまり、もう丁重に扱って元に返すしかないとの結論を出していました。その返し方を尋ねていることに注目してください。そして祭司たちは言います。「国境で神の箱を引いてきた牛たちがベト・シエメシュに向かうなら、これらの降りかかった災いがイスラエルの神から出ていたことになりませんが、ほかに向かっていったんらば、起こったことすべては偶然の災難であり、気にすることはありません」。

その言葉を信じるしかないので、言うままに実行したところ、牛は神の箱を引いてベト・シエメシュへ向かうではありませんか。ペリシテは神の恐ろしさを改めて感じたことでしょう。

ななめ聖書 先週のこたえ

の	わ	を	こ	は	た	な	し	ぶ
こ	は	し	ぶ	な	わ	の	た	を
ぶ	た	な	を	し	の	は	わ	こ
を	こ	の	な	わ	ぶ	た	は	し
な	し	は	た	こ	を	わ	ぶ	の
た	ぶ	わ	し	の	は	を	こ	な
は	を	ぶ	の	た	こ	し	な	わ
わ	な	こ	は	を	し	ぶ	の	た
し	の	た	わ	ぶ	な	こ	を	は

①たびのとちゅう

②したがうもの

③みっかかん

④れんこう



ローマに向かうパウロ

夜が明けると、ユダヤ人たちは集まって、パウロを殺すまでは飲み食いしないという誓いを立てた。共に誓いを立てた者は、四十人以上もいた。

彼らは、祭司長たちや長老たちのところへ行って、こう言った。「私たちは、パウロを殺すまでは何も口にしないと、堅く誓い合いました。ですから今、パウロについてもっと詳しく調べるといふ口実を設けて、彼をあなたがたのところに連れて来るように、最高法院と組んで大隊長に願ひ出てください。私たちは、彼がここに来る前に殺してしまう手はずを整えておきます。」

(使徒言行録23:12～15)



連行されるパウロ

【必殺の誓い】

パウロに対し、相当の怒りを感じていたのでしょう。40人以上が「パウロを必ず殺す」と決意をした上で、祭司長たちのところに行き、仲間たちで考えたパウロ殺害計画の手はずを提案しています。祭司長たちも「よく言ってくれた」と歓迎し、この特攻のような乱暴な提案に身を乗り出したのではないかと想像します。

ここで彼らが言っている、目的が達せられるまで「飲み食いしない」という誓いは、当時のユダヤ社会に見られたもので、誓願の方法としては存在していましたが、ただ、「人を殺す」との目的ですから、律法から見てもかなり逸脱していることがわかります。

ここで彼らが言っている「誓いを立てる」に用いられているギリシャ語の意味を調べてみると、「目的を達することができなければ自分が呪われてもいい」との意思が盛り込まれており、彼らがパウロをこの世に生かしておけない人物として何としてでも抹殺しなければならないという決意、ある意味、命を懸けていることがわかります。「もし成し遂げられなければ、自分に神の裁きがくだってもよい」というわけです。

この趣旨の誓願がユダヤ人社会に存在していたことが分かる記述が旧約聖書にいくつか見られます。つまり、断食を伴う誓願が出てくる出来事です。その代表的な事件といえますが、サウル王が「私が敵に報復する夕方まで、食べ物をお口にしない者は呪われる」(サムエル上14:24)と言い、兵士たちに強制的に誓わせたという記述です。

このことにより、兵士たちは苦戦している上に、何も口にすることはできませんでしたから、

余計的に追い詰められてしまいます。とにかく、食べたなら神に呪われてしまうので、兵士たちも相当苦しんだと思います。ところが、ヨナタンは、たまたま「誓わせたことを聞いていなかった」こともあり、蜂蜜を食べてしまいます。その直後、違反行為であることを指摘されたヨナタンは、「何言っているんだ。父は間違っている」と開き直るのですが、処罰の対象となって「死ななければならない」ことになります。この事件は、兵士たちの執り成しによって事なきを得るのですが、これがこの時の「命を懸けた誓願」とつながっています。

ただ、本来は、神の栄光を表すための献身、また自分の信仰姿勢の悔い改めを示すためなのですが、彼らには神への従順な思いはないように思えます。思い返せばパウロも「熱心さの点では教会の迫害者」(フィリピ3:6)と言っています。かつて「主の弟子たちを脅迫し、殺害しようとして意気込んで、大祭司のところへ行き、ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった」(使徒9:1～2)とあるほど熱心だったわけで、彼らの行動を最も理解していたのはパウロだったかもしれません。主がかつての自分の姿を見せてくださったのだと、救われた時の恵みを思い返していたのではないのでしょうか。

結局彼らは誓いを果たすことができませんでした。その後の彼らがどうなったのか、記述がないのですが、大祭司に申し出て、執り成しをしてもらい、誓願を解除することを許してもらったのではないのでしょうか。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子

牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

